

62

NAGAI LEBEN

第62期報告書

平成22年9月1日から平成23年8月31日まで

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ

がんばろう、日本。
人の健康に役立つことで、支えたい。



代表取締役社長
澤登 一郎

平素から株主の皆さまには、ナガイレーベンにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。日本はいま、剣が峰に立たたされております。経済は逼迫し、さらに追い打ちをかけるように、観測史上最大の規模と被害をもたらした東日本大震災に見舞われてしまいました。被災者の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

ナガイレーベングループとしては幸いにも、人的・設備・施設、また営業活動においても影響は軽微に止まっております。私どもではささやかではありますが、被災地の医療・介護施設に向け、医療用白衣の提供を

させていただきました。一刻でも早い復興をお祈り申し上げます。と同時に、より多くの人々の健康に役立つことで、微力ながら日本復興の元気を支えることにも努力してまいっております。

今期業績は、安定した市場環境に恵まれ、売上、利益とも過去最高を達成することができました。これも株主の皆さまのお力添えの賜物と、深く感謝申し上げます。今後も変わらず、医療、看護、介護の市場に特化した、人と社会に貢献する企業をめざしてまいります。

medical



協力：フィアット グループ オートモービلز ジャパン株式会社

ほまれ：チームネイビーシリーズ



ほまれ：ビタミンシリーズ

誇りの絆、「HOMARE」。 コアブランドに成長。

東日本大震災を契機として、人々の間に絆ということが強く意識されるようになりました。家族の、人と人の、そして医療スタッフと患者、医療スタッフ同士の絆。被災地でのいのちを守る献身的な活動。また節電などの劣悪な環境をものともしない努力。そうした活動、努力を支えることこそ、ナガイレーベンの仕事です。ナガイレーベンは絆に早くから着目していました。いわば医療スタッフ同士の絆。これに焦点をあてて昨年導入したのが「HOMAREチームネイビー」シリーズ。さまざまな医療スタッフが集合して、より高度な医療を実現する「チーム医療」の進展にともなって全国の医療機関から注目。医療の専門集団の誇りやアイデンティティを強固にするとして、わずか一年にしてコアブランドに成長しつつあります。

働く意欲、自信が高まる。 介護ウェアが、また進化。

年を追うごとに加速する要介護老人比率の増加の流れを受け、ヘルパー人口も飛躍的な増加を見せています。成長マーケットとして、今後の発展にさらに期待が寄せられています。この好条件をさらに有利なものとするため、ナガイレーベンは戦略的な製品開発を進めています。その狙いは、明るく元気な介護施設づくり。一着のウェアからでも、介護の環境や働く意識は変わる、変えることができる。この考えを基礎に介護の仕事への誇り、自信や意欲を高めるより進化した介護ウェアを導入しています。UKIUKIシリーズをはじめ人気のリバティブプリント、涼感機能を付加したHiraHiraシリーズ…。ナガイレーベンの介護ウェアがいま介護の環境を大きく前進させています。

health



2

花の刺繍がやさしい、うきうきシリーズ



デザイナーズブランド：クレージュ



デザイナーズブランド：ケアクルー

surgical

手術場を明るくするカラーオペウェア



エコロジー & エコノミー。
医療環境のもう一つの社会使命に貢献。

張り詰めたような緊張感、一寸のミスも許されない作業の連続。医療の最先端である手術・検査・研究の現場は、また環境問題に挑む、最前線でもあります。処分がむずかしい医療廃棄物を減少させる。資源を浪費し、ひいては自然環境を損なう使い捨て素材をなくす。この最前線を支えているのが、ナガイレーベンの先端衣料技術です。使い捨てからリユースへ、エコロジーへ。資源をリサイクルし、環境汚染を防止できるコストもセーブできる「コンペルパック」。ナガイレーベンは、医療技術の進歩とともに、環境保全という社会的責務の遂行にも役立っています。

変わらないことと、変わること。
有効な戦略が、さらに充実。

先が見通せない経済状況下にあっても、医療・介護市場は動き、顧客ニーズも刻々と変化を見せます。こうした変化をとらえ、的確に対応することが、企業活動には求められます。ナガイレーベンが長く業界トップの位置を占めていることは、何よりも端的に、戦略の有効性を現しています。しかし時代がどう変わろうが、変わらない考え方があります。人のいのちの力になること。ナガイレーベンの企業存在そのものです。変わらないことを実現するために、変わり続ける。創業一世紀を数年後に控え、その活動はさらに充実していきます。

Business highlight

第62期決算の概要

売上高	145億円	前年同期比 3.6%増
売上総利益率	46.6%	前年同期比 1.2ポイント増
営業利益	43億円	前年同期比 8.8%増
当期純利益	24億円	前年同期比 6.4%増
総資産	335億円	前年同期比 14億円増
自己資本比率	89.0%	

来期の業績見通し

売上高	148億円	前年同期比 1.5%増
営業利益	43億円	前年同期比 0.5%増
当期純利益	26億円	前年同期比 4.5%増

来期の重要テーマ

売上拡大に向けた営業戦略
●看護・介護等コア市場の深耕 ●患者・手術等周辺市場の拡大 ●新市場の開拓
安定供給に向けた生産戦略
●素材メーカー・商社との取り組み強化 ●QR生産体制のブラッシュアップ ●新規海外生産拠点の開発

当社グループ(当社及び連結子会社)は、主力のヘルスケアウェアが新商品群の強い引き合いにより中部・西日本を中心に新規獲得が順調に推移したのに加えて、手術ウェア、患者ウェアの周辺商品の売上が引き続き好調に拡大し、期初の売上計画を達成するとともに過去最高の売上を達成することができ、145億78百万円(前年同期比3.6%増)の売上高となりました。

生産に関しましては、懸念された東日本大震災による計画停電の影響も限定的であり、原材料価格と海外加工賃の上昇はあったものの、円高メリットと海外への生産シフトにより売高原価率の低減を図ることができ、利益率の向上を行うことができました。その結果、過去最高の利益となる、43億58百万円(前年同期比8.8%増)の営業利益、24億93百万円(前年同期比6.4%増)の当期純利益となりました。

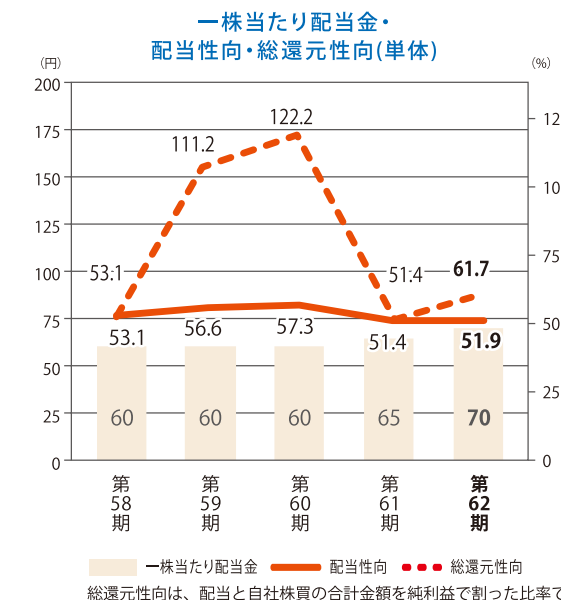
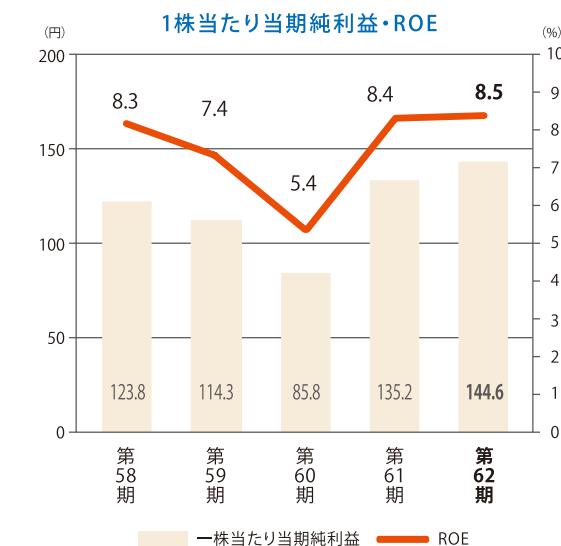
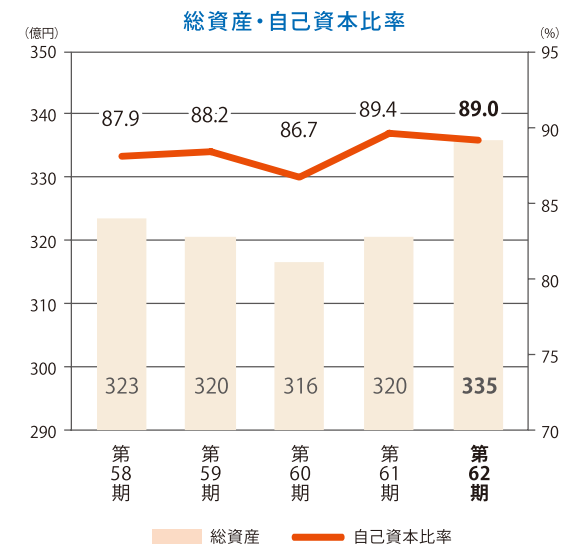
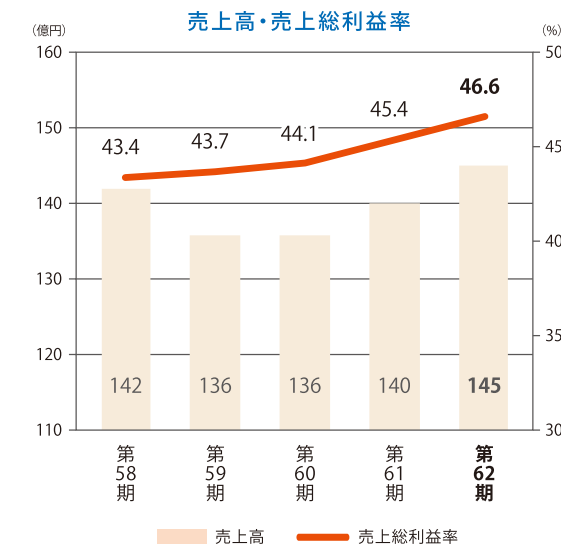
景気の先行きは、東日本大震災による生産活動の停滞の長期化、放射能汚染問題による風評被害等、楽観できない状況で推移するものと思われます。医療・介護業界におきましては、震災の影響は地域的な部分に止まり一応の落ち着き感を取り戻すものと見られるものの、診療報酬と介護報酬のダブル改定が2012年4月に予定されており、新政権においてはその財源問題もまだ明確化されておらず、先行き不透明感は継続するものと考えられます。

当社グループの属するメディカルウェア業界におきましては、現在市場は安定期に入っているものと考えられます。

当社グループとしては、主力ヘルスケアウェアにおいて新コンセプト商品群の拡販に努め市場を活性化させつつ、中部・西日本でのシェアアップを図るとともに、「コンペルパック」での更なる手術ウェアの拡販、拡大する患者ウェア市場への販促強化を積極的に推し進め、連続して過去最高の売上高を目指してまいります。

生産に関しましては、海外への生産シフトの推進及び安定供給のための新規海外生産拠点の開発を図ってまいります。

主な経営指標



Financial statement

連結財務諸表の概要

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成22年8月31日	当期末 平成23年8月31日
(資産の部)		
流動資産	24,498	23,349
固定資産	7,591	10,188
資産合計	32,089	33,538
(負債の部)		
流動負債	2,841	3,139
固定負債	564	563
負債合計	3,406	3,703
(純資産の部)		
株主資本	28,778	29,917
その他の包括利益累計額	△95	△82
純資産合計	28,682	29,835
負債純資産合計	32,089	33,538
一株当たり純資産	1,653円 94銭	1,732円24銭

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成22年8月31日	当期末 平成23年8月31日
株主資本(期末残高)	28,778	29,917
その他の包括利益累計額(期末残高)	△95	△82
純資産合計(期末残高)	28,682	29,835

(平成23年8月31日現在)

(注)記載金額は千円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

資産合計は前期比1,448百万円増加いたしました。主な増加は、土地2,800百万円、たな卸資産236百万円です。

Point

負債合計は前期比297百万円増加いたしました。主な増加は、仕入増による支払手形及び買掛金195百万円、未払法人税61百万円です。

Point

株主資本は前期比1,139百万円増加いたしました。株主還元として、自己株式の取得及び1,127百万円の配当を実施いたしました。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成22年8月31日	当期末 平成23年8月31日
売上高	14,076	14,578
売上原価	7,687	7,785
売上総利益	6,388	6,793
販売費及び一般管理費	2,383	2,434
営業利益	4,005	4,358
営業外収益	154	101
営業外費用	176	183
経常利益	3,983	4,277
特別利益	1	3
特別損失	11	63
税金等調整前当期純利益	3,973	4,217
法人税等	1,358	1,635
法人税等調整額	271	88
当期純利益	2,344	2,493
一株当たり当期純利益	135円 18銭	144円59銭

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成22年8月31日	当期末 平成23年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,840	3,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,492	554
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,040	△1,353
現金及び現金同等物の増減額	300	2,150
現金及び現金同等物の期首残高	6,250	6,550
現金及び現金同等物の期末残高	6,550	8,701

Point

円高メリット及び海外への生産シフトにより、売上総利益が増加いたしました。

Point

投資有価証券による投資損失として、特別損失が60百万円発生いたしました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フローは3,050百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは主に、有形固定資産の取得による支出がありました。財務活動によるキャッシュ・フローでは配当金の支払、自己株式の取得を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は8,701百万円となりました。

Our feature

当社概要

当社の特徴

1 医療白衣メーカー専門として 優位なポジションを確立

- ・国内シェア60%超のリーディングカンパニー
- ・企画から製造、販売までを一貫して行う
- ・数千種類にも及ぶ豊富なアイテム数、
オーダーメイド対応など競争力のある商品

2 安定伸長する市場環境

医師・歯科医師 ・薬剤師数 ^{*1}	看護職員数 ^{*1}	介護職員数 (常勤換算) ^{*2}
65万人 2006年比 +26,200人	140万人 2006年比 +64,300人	84万人 2006年比 +29,300人

^{*1} 厚労省 厚生労働白書 (H22年度版) : 2008年現在

^{*2} 厚労省 介護サービス施設・事業所調査結果 (09.1) : 2008年現在

3 強固な収益体質と財務基盤

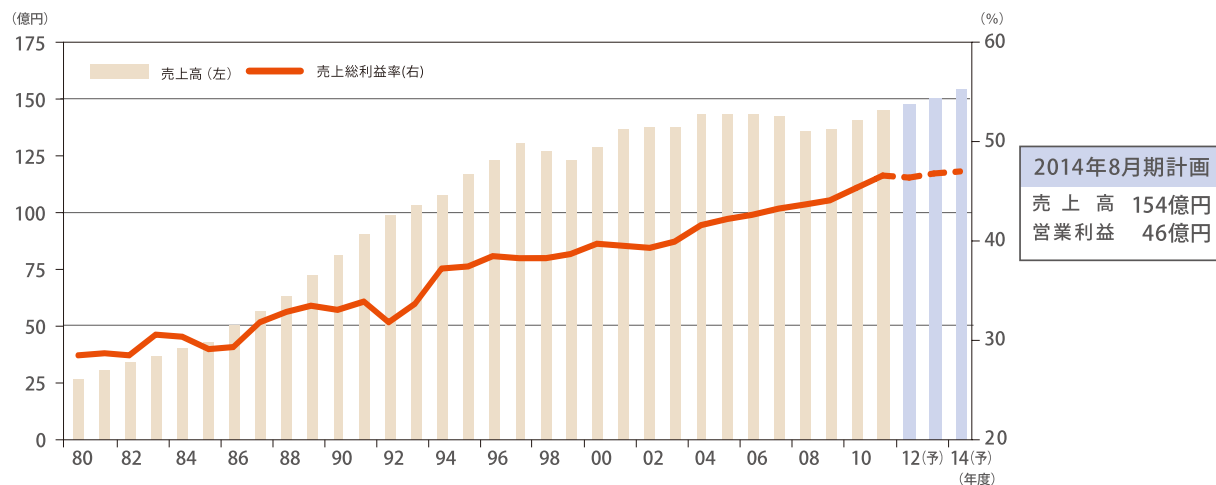
- ・売上総利益率 46.6%
- ・海外生産シフトで、利益率のさらなる向上
- ・自己資本比率 89.0%

※第62期での数値になります

4 株主を重視した株主還元策

- ・安定配当、配当性向50%以上
- ・自己株式の取得

業績の推移



株主様を重視したIR活動

当社では、「積極的なディスクロージャーによる透明性向上」「投資家との双方向コミュニケーション」「高配当による株主還元」など、より多くの投資家へ向けたIR活動を積極的に行い、株主の皆さまへの利益還元の充実を経営の重要課題のひとつと認識しております。

一年間の株主還元の取り組み実績のご報告

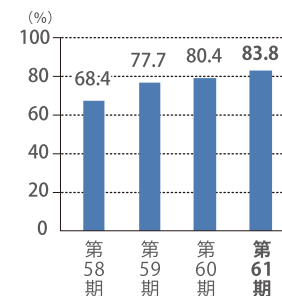
第62期の期末配当	自己株式の取得	株式分割の実施
1株70円 (単体・配当性向:51.9%)	買付株数: 118千株 総額: 2億2千万円	1株を2株に分割 (平成23年9月1日に実施)

当社は、株主の皆さまへの利益還元の充実を経営課題のひとつとして位置付け、強固な財務体質の強みを生かし、配当性向を当社単体の純利益の50%以上、安定的な配当金額を継続とする方針で、必要に応じて自己株式の取得等を積極的実施しております。また、平成23年9月1日に、投資しやすい環境を整えるため、流通株式の増加を図ることを目的として、株式分割を実施いたしました。

株主様アンケートのご紹介

毎回、本誌と一緒に送付しております、アンケートはがきに多くの株主の皆さまよりご回答をいただいております。当社は、株主の皆さまからご満足いただけるよう、アンケートを通じて集まりました株主の皆さまのご要望等は、できることから対応をさせていただきます。

当社に対する満足度



当社に対するご要望等

- ・株式分割を希望する
- ・安定配当を継続してほしい
- ・堅実経営で今後とも安定成長を期待する

会社概要 Corporate outline

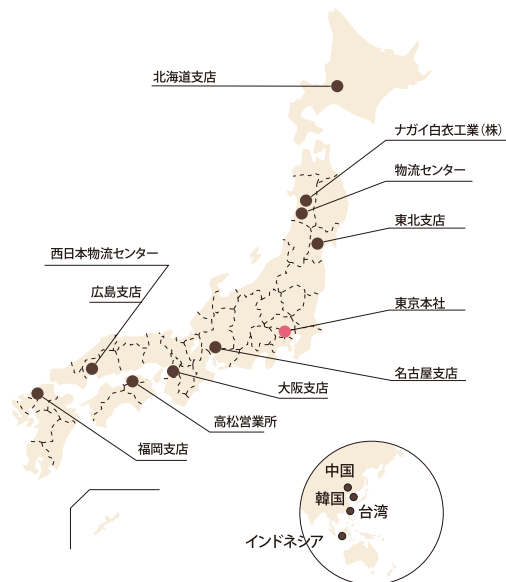
商号	ナガイレーベン株式会社
本社	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1丁目2番19号
設立	昭和25年7月20日
資本金	1,925,273,475円
社員数	108人（グループ従業員数490人）（平成23年8月31日現在）
役員	代表取締役社長 澤登 一郎 常務取締役兼営業本部長 斉藤 信彦 取締役管理本部長 大野 和城 取締役業務本部長 朝井 克司 取締役企画本部長 山本 康義 常勤監査役 荻野 和孝 監査役 輿石 國安 監査役 城見 浩一（新任）

*平成23年11月25日開催の定時株主総会終結の時をもって、任期満了により次の監査役が退任しております。
（監査役）永井 光

主な事業所

本社
ナガイレーベン物流センター
ナガイレーベン第2物流センター
ナガイレーベン西日本物流センター
北海道支店 東北支店
名古屋支店 大阪支店
広島支店 福岡支店
高松営業所
台北支店

関係会社 ナガイ白衣工業株式会社



（平成23年11月25日現在）

株式情報 Stock information

株式情報

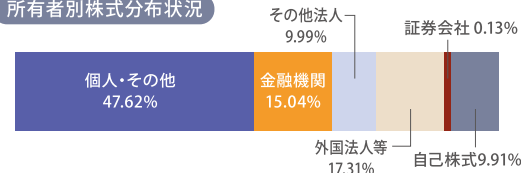
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数（自己株式1,894,635株を除く）	17,223,365株
株主数	3,050名

大株主の状況

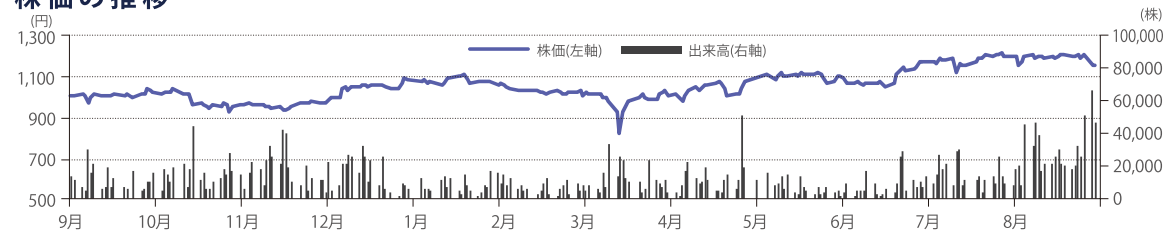
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登一郎	2,872,200	16.7
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,319,067	7.7
日本トラスティ・サービス信託行株式会社（信託口）	835,600	4.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	683,600	4.0
丸山悦子	570,000	3.3
澤登辰郎	527,600	3.1
株式会社安立	504,000	2.9
有限会社登龍	474,800	2.8
露口誠	400,000	2.3
RBC DEXIA INVESTOR SERVICES TRUST, LONDON-CLIENTS ACCOUNT	356,900	2.1

注1. 当社は、自己株式を1,894,635株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価の推移



*平成23年9月1日に1株を2株に株式分割を実施しております。上記株価は分割調整後のものです。

株主メモ

決算期	毎年8月31日
定時株主総会	毎事業年度末の翌日から3か月以内
基準日	毎年8月31日
公告掲載方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL http://www.nagaileben.co.jp/

単元株式数	100株
銘柄コード	7447
上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
同事務取扱所	日本証券代行株式会社 本店 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

郵便物送付先・お問合せ先	日本証券代行株式会社 代理人部 〒103-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 電話0120-707-843（フリーダイヤル）
--------------	---

- 各種手続のお申出先
- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
 - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。



いのちの力になりたい。

本 社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-2-19 Tel.03-3863-0371 (代) Fax.03-3863-5891

営 業 1 部 1・2課 Tel.03-3864-7891 (代) Fax.03-3864-7898

営 業 2 部 1 課 Tel.03-3864-7891 (代) 2・3課 Tel.03-3864-7894 (代) Fax.03-3864-7898

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東 北 支 店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒464-0832 名古屋市千種区山添町2-90-1 Tel.052-757-2891 (代) Fax.052-757-2893

大 阪 支 店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広 島 支 店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

福 岡 支 店 〒810-0011 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

高松営業所 〒761-0113 高松市屋西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

台 北 支 店 台北市中山區復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <http://www.nagaileben.co.jp>



JQA-QMA11091
本社・国内営業所
JQA-EI44600
本社



TNP-1110-0016



このマークは株式会社ツバルの森が提供する太陽光発電によるグリーン電力証書の利用を証するものです。

当社は、第62期事業報告の制作(印刷)時に消費する電力相当をグリーン電力証書を利用することで、環境に配慮した電子制作を行うとともに、日本における自然エネルギーの普及促進に貢献しています。